

第 29 回(2011 年度)地域安全学会発表会(秋季)で当センターのメンバーが研究発表を行いました(2011/11/11-12)

11月11日(金)、12日(土)の2日間、静岡県地震防災センター(静岡県静岡市)で地域安全学会が主催する「第29回(2011年度)地域安全学会発表会(秋季)」が開催されました。同学会は、生活者の立場から地域社会の安全問題を考え、地域社会の安全性の向上に寄与することを目的とした学会で、自然科学と人文社会科学を含めた横断的な幅広い大学等の研究者・民間企業等の技術者・国や地方自治体の実務家が参加しています。発表会は春季と秋季の2回行われており、今大会に当たる秋季は、口頭による査読論文の発表、ポスターによる一般論文の発表が行われます。当センターからは、2件の査読論文発表と1件の一般論文発表を行いました。今年度は、東日本大震災に関する研究発表が多く、議論も活発に行われ内容の濃い大会となりました。大会の最後には、当センターの客員教授である岡田成幸教授(北海道大学)が、地域安全学会論文賞の授賞式があり、記念講演が併せて行われました。また、今後、投稿論文数の増加が懸念されること、研究成果の社会への共有を盛んに行うことを目的として、年2回刊行されていた論文集は、次年度より年3回刊行になることが決定しました。当センターからの発表者の講演題目等は次の通りです：

査読論文発表会

佐藤翔輔、今村文彦、林春男：東日本大震災について報じられたウェブニュースコーパスの基礎的解析

萩原義訓*、源栄正人、三辻和弥*、野畑有秀：リアルタイム地震観測ネットワークを用いた地震動予測に関する研究 ―前線の波形情報を用いた最大値指標の予測―

一般論文

阿部郁男*、今村文彦：東北における津波防災支援システムの構築と活用の課題

平成 22 年度地域安全学会論文賞受賞

岡田成幸*、中嶋唯貴、小山真紀、松下孝星：コンピュータビジョンによるリアルタイム音声誘導システムの開発～地震時室内負傷低減のための多重対策の一環として～

下線はセンター構成員

*は客員・非常勤・修了生等のセンター関係者